

令和7年12月18日

ヘタの近くまで真っ赤！ 濃厚イチゴ出荷開始!!

川崎市内産イチゴの出荷が本格的に始まりました。生産者の直売所やJAセレサ川崎の大型農産物直売所「セレサモス」でもイチゴが販売され、多くの地域住民から高い支持を集めています。このたび、生産者の協力により、収穫現場を取材いただける機会を設けましたので、ぜひ取材いただき市内産イチゴを紹介いただければ幸いです。

市内産イチゴについて

市内では若手生産者を中心としたイチゴの施設栽培への参入が、ここ数年で増えています。栽培されている品種は「紅ほっぺ」「よつぼし」の他、神奈川県で生まれた新品種「かなこまち」など多彩です。品種ごとに食味や香り、販売開始時期が異なるため、さまざまなイチゴが楽しめます。多くの品種は12月から収穫が始まり、生産者によっては5、6月頃まで出荷が続きます。

市内産イチゴの特徴は、直売を中心としているため、輸送の振動や傷みなどのリスクが少なく、完熟状態で収穫できる点です。品種にもありますが、中まで真っ赤に熟したイチゴは、濃厚な味わいや芳醇な香りが魅力で、セレサモスでも高い人気を誇ります。JAも市内産イチゴのPR強化に努め、ホームページで市内16軒のイチゴ農園を紹介。直売やイチゴ狩りの情報を案内しています。



元木 要介さんについて

今回ご協力いただく元木さんは、約15年前から栽培を始め、「紅ほっぺ」「みくのか」などの他、白いイチゴや今シーズンから始めた新品種「堅(けん)しき」と「堅(けん)しき」など、合計10品種約6000株を育てています。施設前の自動販売機や「セレサモス」で販売しており、1月中旬からはイチゴ狩りも受け入れます。多彩な品種を味わえることから、毎年多くの利用者が訪れ、完熟イチゴのバリエーションを楽しんでいます。

【取材ご案内】

日 時：令和7年12月25日(木) 10時開始

取材先：元木いちご農園 Motoki Strawberry Farm

元木 要介さん(37)

集合場所：川崎市麻生区黒川203の施設

※同施設は駐車場があります。取材申し込みの際に
駐車場利用の有無もお知らせください。



元木 要介さん



地図はこちら

内 容：2時間ほどお時間をいただき、収穫の様子を撮影させていただく他、栽培における工夫や苦労、やりがいなどの質問・取材にご協力いただきます。

当日は、JAセレサ川崎 経営企画部広報課の職員も同行します。

【お問い合わせ・取材のご連絡について】

※取材をご希望される場合は、事前にJAセレサ川崎広報課までご連絡願います。

◆お問い合わせ先

セレサ川崎農業協同組合本店 経営企画部広報課 TEL 044-877-2964 担当：高松